

がんばろう 南三陸町

復興第86号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター

台風19号被害氾濫現場 〈小森・御前下地区〉 10月13日



大震災後に造られた仮橋に河川の草木が引っかかり国道398号が冠水となった。

上流からの雨水により河川の草がなぎ倒され橋に引っかかった(伊東屋スタンド前)

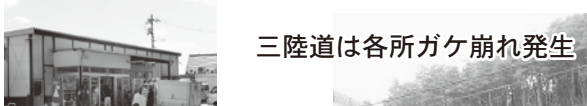


志津川IC入口のスタンドも大きな被害がでた。

小森神社の丘で別れるように八幡川が溢れた。



八幡川の氾濫により御前下商店街にドロ水が流入し後片付けに追われていた(14日)



三陸道は各所ガケ崩れ発生



〈志津川大上坊地区〉



大上坊の民家の裏山から崖崩れと倒木被害。



三陸道の橋脚の部分が雨水により浸食され、通行止めとなり復旧工事。

〈歌津地区〉

田表地区に臨時の被災ゴミ置き場が設置された。



田表で建物の基礎部分が流出し、工場が傾いた。



入谷1号線から田畑へ向かう橋が崩落した。

〈入谷地区〉



入谷横断1号線の小森入口の自動車钣金店前の電柱が激流で倒壊し店内にもドロと雨水が流入した。



小森の熊田橋にも太木が引っかかったまま(14日)



国道398号線も八幡川が大きく道路を削った(桜沢)

喜寿(77才)の166人が仲間入り



南三陸町令和元年度敬老会

9月24日～26日の3日間において、南三陸ホテル観洋を会場に令和元年度敬老会が、賑やかに開催されました。

24日は戸倉地区の257人と入谷地区の416

人の合同で、25日に歌津地区の759人、26日は志津川地区の1028人、合計で2466人が敬老の祝いを迎えた。男性が902人と女性が1558人で、女性の平均年齢が世界一高齢化を持続している。(年齢は令和元年度現在で、人数は令和元年8月1日現在の住民台帳によるもの。)

志津川地区の敬老会開会の初めに、佐藤町長が挨拶を述べ、志津川地区で敬老会の仲間入りの喜寿の方々は「166人」であり、1028人のうち「319名」が出席した。日本の平均寿命は、

男性81.25才・女性87.32才であり、100才以上が約7万人を超えた。祝いの挨拶では「幸せな毎日を送っていただきたい」「子育て、地域づくりに尽力され、大正・昭和・平成と平和と豊かさがあるのは皆様のおかげ」「お互いの近況を語りながら、ゆっくりくつろいで下さい。」と話した。

記念品贈呈では、志津川地区代表は高齢者の仲間入りした73人を代表して、西ヶ丘地区の阿部さんが77才の「祝詞」を受けた。他の地区では戸倉地区19人、入谷地区29人、歌津104人となった。

三浦議長は「精神力と忍耐力を後世に伝えてくれた」「一人暮らし公営交通、福祉施策の中で、公共交通の利便性など課題解決に取り組んでいる。」「経験と技能を我々に指導いただきたい」「笑顔のたえない日々が末永く続くことを祈念します。」と祝いの言葉を送った。

最高齢は志津川地区の女性で102才となる。100才以上は14名を数える。

お祝いの宴では、南三陸大正琴の会8名や趣味で活動する踊りの会の皆様、カラオケ自慢の方々が敬老会の祝いの席に華を添えてくれた。

最高齢は志津川地区の女性で102才となる。100才以上は14名を数える。

お祝いの宴では、南三陸大正琴の会8名や趣味で活動する踊りの会の皆様、カラオケ自慢の方々が敬老会の祝いの席に華を添えてくれた。

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

令和元年(2019年)

～ 地元報道より ～

6月の出来事

南三陸町

◆南三陸町が進めてきた、行政区再編が完了。震災前74あった行政区を69行政区に再編した。防集団地や災害公営住宅などの区域に新設されたのは10行政区、既存の行政区を統合したのは4行政区、歌津地区は、すべて既存の行政区に組み込んだ。

◆教育旅行で南三陸町を訪れる台湾の学校が増えている。受け入れが始まったのは15年からで、本年度は過去最多のペース。

◆4日南三陸町総合体育館「ベイサイドアリーナ」で、第71代横綱・鶴竜関が復興への願いを込めた力強い土俵入りを披露した。2011年6月に志津川中を会場に横綱・白鵬関が披露して以来、2度目となる。

◆南三陸町生涯学習センターが、オープンから1カ月で約3500人が利用した。図書館は旧施設(コアラ館)だった昨年の同期と比べて、約3

倍に増えた。

◆4日南三陸町は、新たな地域おこし協力隊員に仙台市出身の女性を任命した。現役で10人目の隊員となる。有害鳥獣対策や志津川湾での調査を通じた、自然を生かした環境教育メニューの構築などを担う。

◆南三陸町議会6月定例会は、11日に開会する。報告4件のほか、23議案を審議する。一般質問は7氏が通告している。

◆8日、南三陸町志津川の松原干潟で志津川高校自然科学部の生徒らが生物調査を行なった。希少種もあり、過去2年の調査では計97種の生き物が見つかった。

◆9日南三陸町入谷のひころの里で、「ひころマルシェ」が開かれた。会場には県内外から最も多い58ブースが出店した。毎年初夏と秋の2回開いていて、今回が8回目となる。

◆南三陸町入谷「椎彩杜」が、乾燥シイタケを原料にした調味料を発売。「椎茸出汁しょうゆ」「椎茸の洋風ソース」で、しょうゆ・ソースともほんのりとシイタケの風味がするまろやかな味わいで、1本200ml入り、税込600円で発売されている。

◆南三陸町の平成の森球場に11日、埼玉武蔵ヒートベアーズの選手たちが「熊谷桜」を植樹した。球団と町との交流や復興を願って行なわ

れた。

◆南三陸町は14日、担当する業務で不適正な事務処理を行うなどした、地域包括支援センターの20代男性と企画課の20代女性を戒告の懲戒処分にした。監督責任として、男性の上司だった当時の課長級(50代)を口頭注意、係長級(50級)を文書厳重注意とした。女性の上司だった課長級(50代)、係長級(40代)を口頭注意とした。

◆15日南三陸町歌津伊里前地区で、国道45号復旧事業などに伴う現地説明会が雨の中開かれた。国道45号の現場や、伊里前川の河川堤防を歩きながら説明を受けた。完成時期については、2020年度末の完成を目指していると話していた。

◆南三陸町は、東京電力福島第1原発事故で汚染された牧草について、9月に入谷地区の民有地にすき込み処理を行う方針を、町議会6月定例会で明らかにした。

◆南三陸町議会6月定例会は17日の最終日、議案審議を続行し、10議案を可決し閉会した。祈念公園の開園時期については、一部を今年12月に、来年9月に完成する八幡川沿いを除く、ほかのエリアを来年3月11日までに整えたいとの意向を示した。

(前ページよりの続き)

◆南三陸町の町税収入が過去最高となる見通しにある。人口減に加えて、「復興特需」が薄れる今後の見通しは不透明。町民税務課では、「動向を注視していきたい」と話している。

◆「南三陸からあなたに届く四季便り」として、春夏秋冬の食材など5品程度をパッケージにしたギフトパックの第1弾夏だよりが、南三陸観光協会から販売された。秋、冬、春便までは単発の販売となるが、2年目からは年4回の定期便としていく予定。

◆南三陸町戸倉公民館の一部を改修して、自然環境活用センターの整備が始まった。年明けには利用開始する計画。

◆21 日山形県庄内町が南三陸町に義援金を届けた。庄内町からは、震災発生時には救援物資や人的支援などで町の復興を後押ししてもらっていて、現在も応援職員を派遣している。

◆南三陸町歌津婦人会の料理教室が、歌津総合支所調理室で23日開かれた。会員同士の親睦を目的に、震災前から毎年開いていて、今回は会

員約20人が参加した。

◆23日町総合体育館「ベイサイドアリーナ」で、南三陸町PTA連合スポーツ大会が、開かれた。町内7小中学校の保護者ら約300人が参加して、家庭バレーボールで優勝を争った。

◆全国高校野球選手権宮城大会を前に、南三陸町野球協会が志津川高校野球部にボールを贈った。昨秋と春の大会は部員不足のため、いずれも他校との連合チームでの出場となったが、今夏は1年生が加わって9人となり単独出場ができることになった。

◆南三陸町立志津川中学校で防災訓練が行なわれた。全校生徒が災害時に役立つ応急処置や救急救命などの訓練を全て体験できるよう、数日間に分けた「ローテーション訓練」として実施した。

◆南三陸町志津川の人工海水浴場「サンオーレそではま」の今シーズンの海開きが、7月13日行なわれる。海開きを前に26日、ボランティア

ら260人が参加して、サンオーレそではま周辺でビーチクリーン作戦が行なわれた。

◆公務員に夏のボーナスが支給された。南三陸町は、特別職、一般職、議会合わせて1億4118万円となる。

◆ミヤコーバスが運行している三陸道経由の高速バス(仙台―気仙沼)で、7月からのダイヤ改正に伴い、一部の停留所が廃止される。そのうちの1カ所が歌津枳沢停留所で、廃止停留所を利用していた住民はBRT志津川駅か本吉登米沢まで行って乗ることになる。大震災以降は仙台まで直通で結ぶ貴重な足だった。利用者から不満の声が上がっている。

◆28日午前6時35分ごろ南三陸町入谷の三陸道登米志津川トンネル付近で、大型トレーラーが横転する事故があり、10時間にわたって志津川IC―三滝堂ICが上下線とも通行止めとなった。



8月24日、南三陸町ベイサイドアリーナ文化交流ホールを会場に「令和元年度南三陸町戦没者追悼式」が開催され、遺族や町など多くの関係者が集まり、町のために戦った先人に献花をした。

遺族台帳掲載から848人の御霊の前で、不戦の誓いを新たにした。志津川330名、戸倉161名、入谷126名、歌津231名の戦死者を前に佐藤町長の式辞では「ふるさとの安泰、家族の事を考え、深い悲しみを生き抜いた皆さん、戦争の風化を懸念している。次の時代に継承していく。」と話す。

南三陸町遺族会長の西城新市さんの「追悼の辞」では、「御霊の皆様、昭和・平成・令和と、平和な時「令和」は皆様の礎の元に建つ」「848様の御霊の元、次の時代につなぐ事を約束いたします。」と語りかけた。

多くの先人がお国のために、町・家族のために戦火に散った、戦没者に想いを馳せる一日となった。

年賀・喪中ハガキ受付中！

喪中はがきの準備はお済みですか
内容印刷・宛名印刷まで受け賜ります
(お早めに！)

イラスト・デザイン
30種以上

喪中につき年末年始の挨拶を
ご遠慮申し上げます
三月に父〇〇が八十八才にて永眠いたしました
ここに本年中に悔いしましたご厚情を深謝申し上げます
明年も変わらぬご交誼のほどお願い申し上げます
令和元年十一月
宮城崇光 伊藤

年賀状ご注文の方に、
もれなく3カ月運用力レター
プレゼント(数に限りあり)

謹賀新年
旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます
令和元年 元旦

南三陸町人口の推移

(令和元年9月末現在)

	南三陸町	志津川	戸倉	入谷	歌津
22年3月	17,815	8,294	2,433	1,907	5,181
30年8月	13,056	5,361	1,424	1,967	4,304
元年9月	12,732	5,173	1,392	1,938	4,229
30年9月からの増減数	-316	-180	-28	-32	-76
元年8月からの増減数	-8	-2	-3	-3	0
世帯数	4521	2041	474	654	1352

(2019年10月の新聞記事より)

- ・14カ月連続人口の減少
- ・9月の出生7人、死亡は13人



南三陸町新井田の中央団地の眼下の国道45号線沿いに、3.11東日本大震災から8年6カ月を経過し、気仙沼・本吉地域広域事務組合「南三陸消防署」の落成式が9月2日、関係者60人を迎え開催された。

震災後の消防体制の確保として、2011年4月にアリーナ南側にトレーラーハウスにて消防署活動体制が早期に開設された。手狭だった場所から2013年4月にアリーナ北側に仮設庁舎が整備され、6年2カ月を経て新井田地区に南三陸消防署が本設となった。

開会にあたり広域組合副管理者の佐藤仁町長の式辞では、「国の消防防災施設災害復旧助成金を活用した。土地は南三陸町から借用し、建設関係団体の尽力により開庁の運びとなった。」「殉職した9人の職員・団員に完成を報告し、後輩たちの活動を見守っていただきたい。」と挨拶した。

建設に協力・尽力された企業3社に、感謝状が贈られた。

広域議会の三浦清人副議長の祝辞では、「地元の皆様のご協力により災害からの復旧を遂げた。」「自然災害は北海道でも大規模な災害が発生している中で、新たな拠点として期待している。」と述べた。安住淳衆議院議員は「災害はもとより救急搬送をよろしく願いたい。」「救急救命の役割は大きく、広域医療体制で安全安心の拠点到」と語った。



小野寺五典衆議員議員は「防災訓練の卓越した技能を発揮していただきたい。」「町民の皆様にも勇気を与えていただきたい。」と話した。

工事の概要説明では、平成30年7月から1年間の工事期間で、事業費は約5億4千万円だった。訓練塔は鉄骨造りのA塔は5階建てで、B塔は3階建てとした。

2日の落成式の数日後には、新消防署の一角に殉職署員の慰霊碑も移設された。町民にも手を合わせられる場所として整備された。

気仙沼・本吉地方 中総体新人戦

【バスケットボール】

[男子] 予選Aリーグ 志津川 113-14 歌津 津谷 60-43 歌津 志津川 58-45 気仙沼・条南 ◇準決勝 志津川 47-24 面瀬 ◇決勝 志津川 87-34 松岩 志津川が県大会へ
[女子] ◇準々決勝 面瀬 48-40 歌津 志津川 41-38 津谷 ◇準決勝 志津川 74-18 面瀬 ◇決勝 条南 45-38 志津川

【野球】

◇1回戦 志津川 7-0 階上 津谷・歌津・大谷 10-3 気仙沼 ◇準決勝 志津川 6-1 条南 面瀬・松岩 4-0 津谷・歌津・大谷 ◇決勝 志津川 4-2 面瀬・松岩 志津川が県大会へ

【サッカー】

予選Bブロック 大谷 2-1 歌津 歌津 1-0 志津川 津谷 1-0 志津川

【ソフトテニス】

[女子] 団体予選Cリーグ 志津川 3-0 階上 志津川 2-1 面瀬 志津川 2-1 大谷 ◇決勝トーナメント1回戦 志津川 2-0 松岩 ◇準決勝 条南 2-1 志津川
▷個人 ①熊谷美優・渡邊心優組(志津川) ②佐藤綾音・佐藤心組(同) 県大会へ

【バレーボール】

[男子] 総当たりリーグ 松岩 2-0 志津川 面瀬 2-0 志津川 ③志津川
[女子] 予選2グループ 条南 2-0 志津川 松岩・階上 2-0 志津川 予選3グループ 津谷 2-0 歌津 ▷2、3グループ勝ち抜け戦 面瀬 2-1 志津川 ◇準々決勝 歌津 2-1 条南 ◇準決勝 歌津 2-1 面瀬 ◇決勝 津谷 2-0 歌津 津谷、歌津が北部ブロック大会へ

【卓球】

[男子] 団体予選Aリーグ ③志津川 ▷個人 ⑤菅原大(志津川)
[女子] 団体予選Bリーグ ⑤歌津 ⑥志津川

【剣道】

[男子] 団体 歌津 4-1 志津川 歌津が県大会へ ▷個人 2年①畠山興人(歌津) ②小野陽輝(歌津) 以上が県大会へ ③安部陸(志津川) 1年②三浦綾星(歌津)